

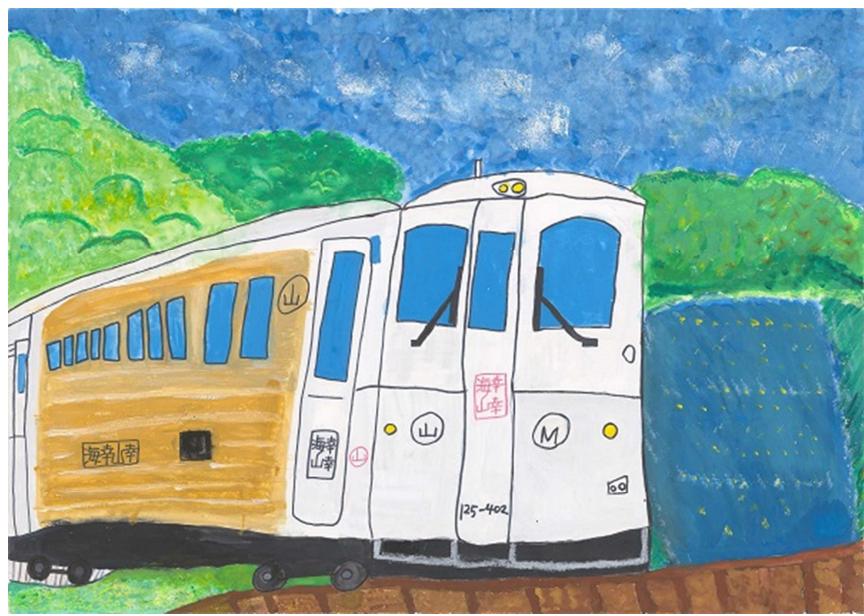
令和4年度

第13回宮崎市

風景絵画コンクール

受賞作品集

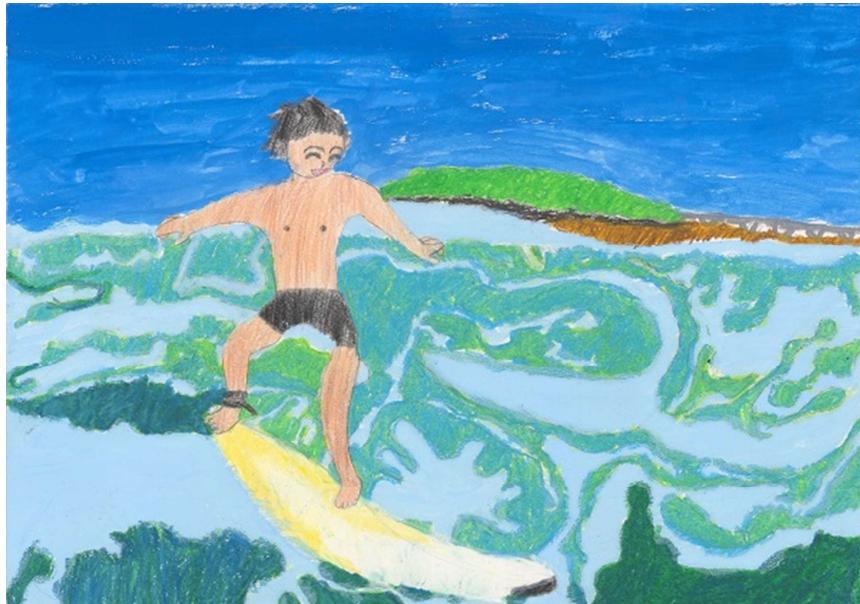
**小学
1・2年生の部**



小学1・2年生 金賞	
大山 祥太郎	
作品名	宮崎市を走る観光列車 「海幸山幸」

講評

画面に大きく描かれた電車が、大山さんが描きたかったのは、"コレ"と伝えてくれているようですね。そのことが、迫力となって伝わってきます。空も山もいろんな色を重ね、よく工夫され表現されています。



小学1・2年生 銀賞	
細山田 至	
作品名	海とサーフィン

講評

よく観察された波の表現、そして色彩がステキです。遠くに見える青島が画面全体を引きしめています。細山田さんの作品を見ていると、こちらも一緒にサーフィンをしているみたいです。



小学1・2年生

銅賞

島村 隼生

作品名 青島のきれいな海

講評

海と空に塗られた、色々なブルーの色、そして、タテ、ヨコ、ナナメの線で描かれた、空、海、ワントニアパームの表現で、画面がいきいきとした作品になりました。その動きを大地がしっかりと支えていますね。



小学1・2年生
審査員特別賞

平井 なつめ

作品名 のってみたいなカーフェリー

講評

大地と空の間にドカーンと大きく描かれた船の構図が迫力があります。右上の黒いかたまりとして描かれた木の葉が画面を引きしめています。



小学1・2年生
審査員特別賞

後藤 久吾

作品名 みやざきのなつのセミ

講評

斜めに描かれた木、黄色に塗られたバックによる大胆な構図ですね。それが迫力になっています。そして、その中によく観察され繊細に描かれた木の葉により印象的な作品となりました。主役のセミもおみごとです。



小学1・2年生
審査員特別賞

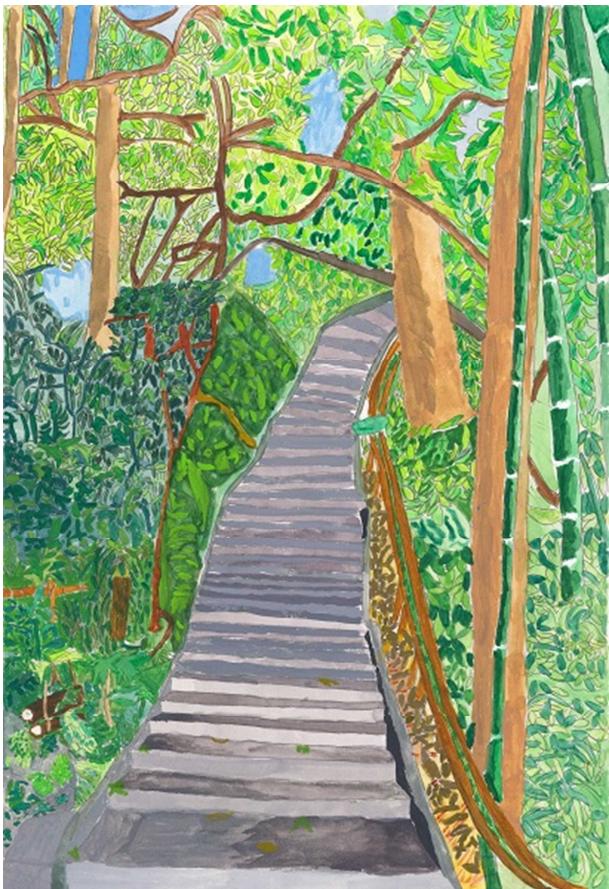
堂籠 碧

作品名 楽しいうみ

講評

空と海そしてやや斜めに描かれた砂浜と、拡がりを感じる構図ですね。左下の緑の浮き輪の子を描くことにより、動きを感じる作品となりました。

**小学
3・4年生の部**



小学3・4年生

金賞

黒木 紡貢

作品名 生目神社への小道

講評

色々な種類の木々がいきいきと描かれてることにより、黒木さんがこの場所を描こうと思われた気持ちが伝わってきます。ほとんど緑色だけで、これだけ豊かな表現ができた事に感激です。これからも黒木さん独特の気持ちを大切にして描いて下さいね。

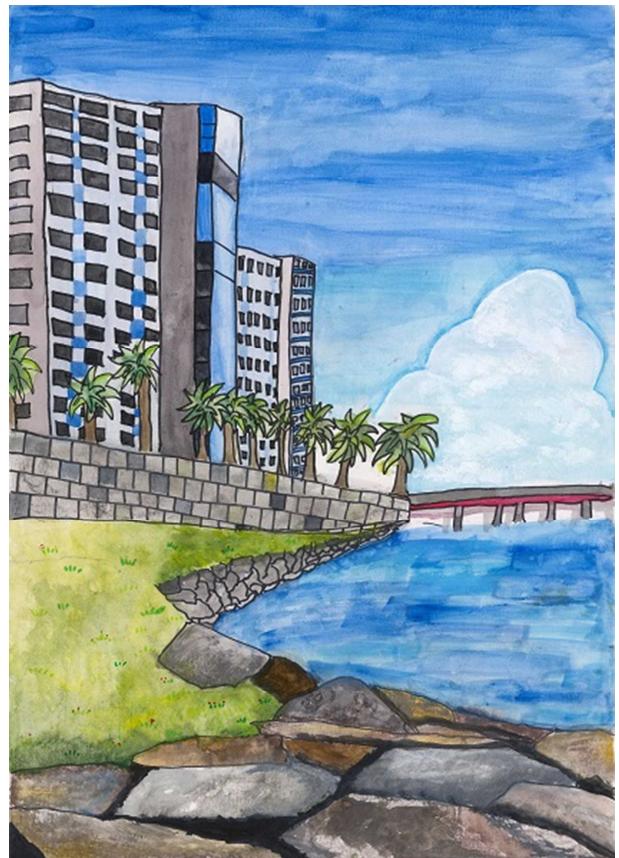
小学3・4年生
銀賞

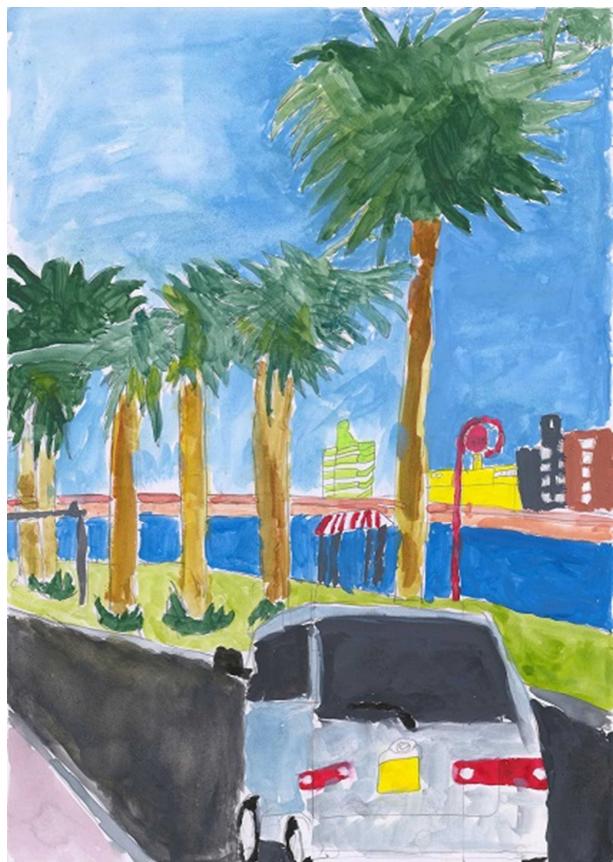
井上 波南

作品名 大淀川さんぽ

講評

大きな入道雲が建物等の風景を支えていますね。そして何よりステキなのが画面手前の石の描写！！構成力のある作品です。





小学3・4年生
銅賞

柏田 音羽

作品名 大淀川の景色

講評

道路を斜めに描くことにより、ひろがりを感じる作品となりました。手前に描かれた車が、その風景を引きしめています。ひと目で、あそだ！と分かる特徴をつかんだ作品ですね。



小学3・4年生
審査員特別賞

日高 璃咲

作品名 大淀川と発電所

講評

様々な緑色による表現での山、流れを感じる川、その間にある発電所。構図がおみごとですね。筆のタッチも工夫され、さわやかな質感となっています。これからも宮崎市的心に残る場所を描いて下さいね。



小学3・4年生
審査員特別賞

中原 里依南

作品名 たちばなばしと大淀川

講評

橋の裏、しかもその真正面を描いた中原さん独自の絵心がステキです。手前の石や、向岸の建物を描くことで、ゆったりと流れる大淀川の風景が伝わってきます。画面のほぼ多くを占めるグレーの色調もステキです。



小学3・4年生
審査員特別賞

棕田 総司

作品名 36+3

講評

画面から飛び出しそうな黒い生き物のような電車が棕田さんの”描きたかったのは、これです”と伝えてるいるようで、見る人に迫力となってせまっています！省略された周囲の描き方でより一層、主役の電車を引き立てています。

**小学
5・6年生の部**



小学 5・6 年生

金 賞

佐藤 千奈

作品名 お気にいりの散歩道

講評

佐藤さんのお気に入りの場所だけあって、画面の隅々までよく観察され、質感もおみごとです。画面の中央に道が描かれているため、私達も作品の中に歩いて入って行きそうですね。道路のグレーの濃淡、空のブルーの濃淡で更に遠近を感じます。



小学 5・6 年生

銀 賞

池田 虎吉

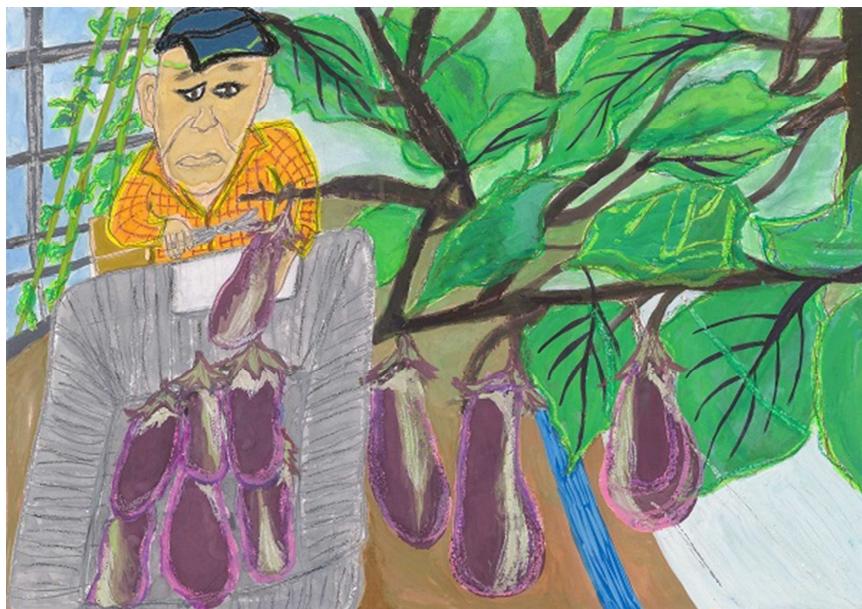
作品名 宮崎の誇る一級河川、
大淀 river

講評

画面での空と川の比率で、みごとに表現された雲がいきいきと印象的です。宮崎らしい黄色の電車を右端に描くことにより、動きを感じますね。独特の川の色もステキです。そして釣りをしている人を左下に描くことにより画面全体を引きしめています。



小学 5・6 年生 銅 賞		講 評
桑畠 琳		新名所となった黄色のポストが、大胆に大きく描かれ、迫力となっていますね。それに対する繊細な砂の表現、遠くの青島やせんたく岩の描写が素敵です。
作品名	幸せの青島 黄色いポスト	



小学 5・6 年生 審査員特別賞		講 評
岩切 悠史		大胆でシンプルに描かれたナスの表現が、迫力ある画面となっています。そして、その奥で作業している人物、左奥斜めに描かれた植物等が主役のナスを引き立てています。
作品名	大きく実れ佐土原ナス	



小学5・6年生
審査員特別賞

柚木崎 花帆

作品名 空の玄関

講評

飛行機、二機を描くための構図がよく考えられています。そして、ガラス窓に写る雲や植物等、細部にまで心を配られた作品です。全体のグレーの色調がステキです。



小学5・6年生
審査員特別賞

鳩山 莉望

作品名 若草通りの路地

講評

わずかに塗られた色彩により、線の魅力が引き立ち、路地裏の雰囲気が伝わってくる作品となりました。これからも鳩山さん独自の目線で宮崎市の描きたい場所を見つけて下さいね。

中学生の部



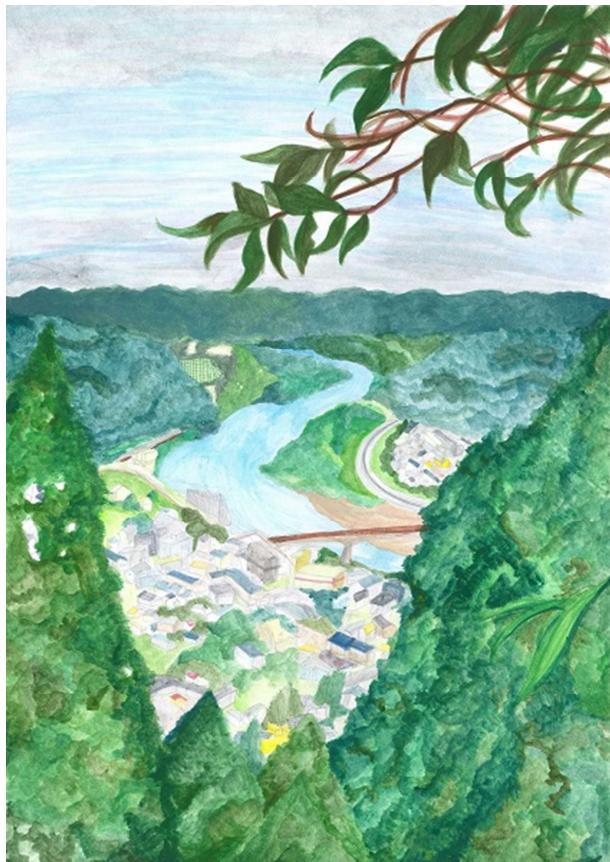
中学生 金賞	
原田 佳歩	
作品名	県庁

講評
画面、手前の噴水の切り取り方で、県庁がより一層、いきいきとした主役となりました。そして全体が、原田さん独特の色彩で描かれることにより、深みのあるずつしりとした重厚な作品となっています。



中学生 銀賞	
湯浅 愛稀	
作品名	森の中の神社

講評
堂々とした鳥居、その横の大木、そして淡く描かれた色彩により、さわやかで莊厳な神社の雰囲気が伝わってきます。鳥居の綱の描き方で静かな中に動きを感じ、鳥居を斜めに描いた事で画面全体の拡がりとなっています。



中学生 銅賞	
木原 葵	
作品名	自然がたくさん高岡町

講評
天ヶ城から見下ろした町のたたずまいや、川の流れが、木原さん独特の描写により印象的な作品となりました。そして何よりも画面右上の空に描かれた枝により、遠近の風景が力強い作品となっています。



中学生 審査員特別賞	
石塚 優	
作品名	夏の思い出

講評
老若男女のそれぞれ違う姿勢の後ろ姿がおみごとです。そして、花火を見つめる後ろ姿だけを描いてるのに、そのひとりひとりの想いが、私達に伝わってくるようですね。作品を見て、私達にいろんなことを想像させてくれたり、伝えてくれる事も絵の持つ魅力で、石塚さんの作品からも感じられ、おみごとです。



中学生
審査員特別賞

上田 遥希

作品名 夏の宮崎神宮

講評

画面全体を覆う緑の木々の筆のタッチが大胆で、上田さん独特の感性で、神社の雰囲気を醸し出しています。この作品は影を描くことが大事な要素で、影を描くことにより、うっそうとした木々がみごとに表現されています。



中学生
審査員特別賞

成枝 こはる

作品名 宮崎八幡宮

講評

神社のごく一部に興味を持ち描いた、成枝さんの独特の感性に乾杯です。赤、朱、黄と微妙な色彩の違いが響きあい、印象的な作品となりました。画面左下に、わずかに見える木々も、この風景には大切な存在です。

第13宮崎市風景絵画コンクール受賞作品集

宮崎市都市整備部景観課
令和4年11月